

# 歩いて巡って街を知る

「常総市でロゲイニングを行い、地域の活性化を目指したい」  
そんな想いを胸に活動する中学生グループをご存知でしょうか？

水海道第一高等学校附属中学校の3年生の有志によって結成されたこのグループは、地域課題に目を向け、ロゲイニングというスポーツを通じて、市の魅力を再発見する試みを続けています。

グループのメンバーは単なる学校内のイベントの企画にとどまらず、地域住民との交流や歴史・文化の理解を深め、街の元気を取り戻す活動を始めています。

今回は、地域の活性化に向けて積極的に活動する中学生の姿取材しました。

## 中学生ができることを

水海道第一高等学校附属中学校の3年生16人で構成されたこのグループは、同校の授業「総合的な学習の時間」で、地域の社会課題を解決するためにテーマを決め、探究を進めています。

令和6年5月からは、市の活性化に目を向けて、本格的に取り組みを始めました。生徒たちは自ら市の抱える課題を調べ「道の駅常総以外に訪れる観光客が少ない」「世代を超えて行う行事が少ない」など、様々な課題があると結論づけました。

そこで、それらの課題解決に向けた活動を通じて、地域を盛り上げるための企画を練って行きました。

## 歩いて、巡って、街を知る。

グループのメンバーたちは、修学旅行で訪れた北海道北広島市で初めてロゲイニングを体験しました。地図を片手に仲間と協力しながら地域を巡る中で、普段は気づかない風景や歴史、文化を発見する楽しさを実感し「常総市でも実施すれば、もっと多くの人に地元の魅力を伝えられるのでは？」と考えるようになりました。

学校に戻ったメンバーたちは、探究の時間を活用して、ロゲイニングのコースを自分たちで考案。チェックポイントとなる店舗や施設に直接依頼を行い、仲間と協力して企画を進めました。

さらに、将来的に一般の方々も参加できるイベントを目指し、運営上の課題や改善点を見つけるためにテ



## ロゲイニングって何??

スタンプラリーと街歩きを掛け合わせたような内容のスポーツで、チームを組んで地図を使って、定められたエリア内に多数設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う野外スポーツです。

ストプレイを行うことを決意。

昨年10月、水海道の街を舞台に、同校の1年生を対象としたテストプレイを行いました。

イベント前に生徒たちに常総市のイメージを尋ねたところ「道の駅」や「水害」といった答えが多く見られました。しかし、イベント後には「街並み」「神社」「自然」といった言葉が頻繁に挙げられるようになりました。

ロゲイニングを通じて、普段は気づかなかった街の魅力を発見できたことがアンケート結果から明らかになりました。これにより、地域の魅力に気づくことで地域への関心が高まり、地元愛が深まって、地域活性化につながる好循環が期待できるようになりました。

＼動画と写真を公開しています／

テストプレイの様子は  
市公式SNSに掲載しています



Instagram



# 常総市への思い

## 中学生の活動から広がる



水海道第一高等学校附属中学校  
中野 美優<sup>みゆ</sup>さん

入学当初は常総市の印象は「広大な田んぼが広がる街」だと感じており、地域の魅力を身近に感じることは少なかったです。

今回のロゲイニングの企画を通じて、地元の名所やお店を訪れ、地元の方々と交流する中で、観光ガイドには載っていない温かみのあるスポットや文化を知ることができました。

特に普段何気なく通り過ぎていた場所にも歴史や魅力が詰まっていることに気づき、新たな発見の連続でした。

企画や資料作りに苦戦する場面もありましたが、仲間と協力しながら改善を重ね、相手の求めるものをくみ取る力や、柔軟に対応する力も身についたと感じています。

これからは、常総市全域でのロゲイニングを企画し、地域の魅力をもっと多くの人に伝えていきたいです。特に常総市合併20周年や水害10年目をテーマにしたコースを作成し、道の駅常総や関東鉄道常総線とのコラボもして行きたいと思います。SNSも活用し、常総市の活性化に向けてさらなる活動に取り組んで行きたいです。

昨年の10月に開催されたロゲイニングのテストプレイには、グループのメンバーが運営として参加して、運営上の課題を発見し、企画の改善に繋がりました。

生徒たちは、テストプレイの実現に向けて自ら考え、自ら行動を起こして、準備を丁寧に進めてきました。

実際に運営を行った感想や、協力した事業者、テストプレイに参加した市の職員に話を聞きました。

店舗に協力依頼をする生徒



教室での活動の様子



教員に向けた説明会





おにぎり専門店 お結び家 縁  
倉持 照男さん



常総市役所 常創戦略課  
松永 寛人

今回のロゲイニングのテストプレイでチェックポイントとして協力しましたが、子どもたちが主体となって地域を盛り上げる姿にはとても好印象を持ちました。

自分が子どもの頃にはこうした取り組みはほとんどなかったので、今の中学生たちが地域を歩きながら新たな発見をする姿を見て、感心すると同時に嬉しく感じました。

普段は車や自転車で移動することが多いこの地域では、歩くことで見えてくる景色がたくさんあります。普段は通り過ぎてしまうお店や建物に気づくことができるのも、こうしたイベントの魅力だと思います。

子どもたちが街の現状を見て、例えば「ここで商売をしたら面白そう」など、新しい発想を持つきっかけにもなってくれたら嬉しいです。

子どもたちの発想は本当に凄いいと思います。目から鱗の発想が出てくるので、今回はまだ関わりが浅かったのですが、今後はもっと積極的に中学生たちとコミュニケーションを取り、一緒に地域を盛り上げていけたらいいなと思っています。

今回、附属中の3年生が企画したロゲイニングに参加する機会をいただきました。

普段は車による移動が多くなりがちですが、生徒があらかじめ設定した様々なチェックポイントを徒歩でまわることで、いつもと異なる街の姿が印象的でした。一緒にまわったメンバー同士、巡った先での思い出話に花が咲き、気がつけば7キロ超も歩いていました。

街を知るという行為は、街の歴史を知ることにつながり、さらには過去を通じて街の未来について考える機会にもなるのではないかと感じました。

またチームを組んで行動をするため、コミュニケーションが生まれやすく、企画をした3年生、参加者であった1年生のいきいきとした様子や自発的に学ぶ姿勢が大変印象的でした。きっと生徒たちにも普段の通学路と違う街の景色に、新たな発見や驚きがあったことかと思っています。

ロゲイニングは、健康増進に寄与するのはもちろん、地域愛を育む良いきっかけになります。そんな取り組みを今後も応援し、地域の未来を担う若者たちと共に成長していけるよう努めていきたいと思っています。



テストプレイの様子



市長へのプレゼン



県庁での発表の様子

## ロゲイニングってどうやるの？

地域の魅力を再確認できるロゲイニング。テストプレイの様子を踏まえ、そのやり方をご説明します。

### 01 地図の配布と作戦タイム



どうしたら効率よくポイントを稼げるか、チームで地図を見ながら作戦会議。

### 02 チェックポイントで写真撮影



チェックポイントに着いたら、チーム全員を入れて写真を撮影し、写真をスマートフォンから所定のアプリケーションに登録して、ポイントを獲得。

### 03 制限時間内にゴール地点へ



制限時間内にチーム全員でゴールを目指します。遅刻するとペナルティがあるので注意が必要です。

### 04 結果発表



獲得したポイントの集計を行い、ポイントの合計点で順位を競います。

担当の先生にインタビュー／

## 地域を学び、成長する子どもたち



水海道第一高等学校  
附属中学校 教諭  
間宮 宗孝さん

本校では、地域とのつながりを大切にしながら、生徒主体の探究活動を行っています。今回のロゲイニングイベントでは「常総市の魅力を再発見する」ことを目的に、生徒が企画・運営を担い、地域資源を活用したイベントづくりに挑戦しました。

活動を通して、生徒たちは、歴史的建造物や自然豊かな景観、地域の方々の温かさを実感しました。登下校では気づかなかった神社や街並みを知り、店舗や施設の方々と直接関わることで、常総市の魅力を深く理解する機会となりました。

最初は緊張していた生徒も、地域の方々に温かく迎えられたことで自信を持ち、積極的に行動するようになりました。

また、並行して挑戦したIBARAKIドリーム・パスでは、伝えることの難しさを学びながら、自分たちの思いを発信する力を養いました。

こうした経験を通じて、生徒たちは、自分たちが地域と関わることで社会をより良くできることを実感しました。今後も本校は地域と連携し、生徒が主体的に社会と関わり、未来を切り拓く力を育んでいきます。

# VOICE

ロゲイニングを通じて地元愛が醸成されたメンバーに改めて常総市の魅力を聞きました。



## 16人の熱意が地域を動かす

常総市の活性化を目指し、結成されたグループのメンバーが企画したロゲイニングは、自らの成長だけでなく、参加した生徒たちに地域への新たな発見と地元愛の醸成をもたらしました。

昨年10月、水海道の街なかを舞台に実施されたテストプレイでは、参加した中学生から「常総市にこんな場所があったなんて知らなかった」「常総市がもっと好きになった」といった声が多数寄せられました。

この結果を基に、メンバーたちは市長に熱い思いを伝え、市を巻き込む大きな流れへと発展させました。

中学生たちの情熱が、地域を大きく動かす力となることを証明した16人の物語。

グループのメンバーは、今後更なる活動を通じて、常総市の魅力を発信していく予定です。

今後の活躍に期待が高まります。